

市民の皆さんに伝えたい「選挙への思い」

選挙は、大切な機会であるからこそ、公明かつ公正に執行する必要があります。今回は、選挙の執行や選挙啓発に携わっている2人から話を聞きました。

私は、市が実施する選挙を、公正かつ適切に執行できるよう努めています。有権者の皆さんに選挙で投票してもらえよう、さまざまな啓発活動にも取り組んでいます。

「選挙は、市民の方の意思を政治に反映させることができる重要な機会であり民主主義の根幹である」ということを常に意識しています。

投票を行うことは、政治に参加する大切な機会です。私たち選挙管理委員会も、市民の皆さまの意思を政治に反映できるように、重要な選挙を適切に行うため、今後も励んでいきます。

有権者の皆さまには、私たちの生活や私たちが住む彦根市を良くするため、自分自身、家族、そして子どもの将来のために、投票に行ってくださいと思います。



彦根市選挙管理委員会委員長
よしひろ
小川 良紘 さん



彦根市明るい選挙推進協議会会長
なおかず
磯谷 直一 さん

「明るい選挙」とは、「有権者の皆さまが、主権者という自覚をもって進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、有権者の意思が正しく政治に反映される選挙」のことです。

私は、「選挙で投票できる喜び」ということを、今一度考えていただきたいと思っています。

現在、満18歳以上の国民であれば、選挙で投票ができますが、過去は違いました。初めて選挙が執行されたのは明治時代ですが、その時は一定額以上の税金を納税している25歳以上の男性しか、投票することができませんでした。

それから長い道のりを経て、「今」があると考えると、選挙で投票できる喜びとともに、一人ひとりの一票が大切であると感じています。

若者の投票率を上げたい！

全体の投票率と同じく、若者の投票率も低い彦根市。未来のまちづくりのためにも、若者の投票率アップは欠かせません。

今回は、白ばら通信(*)の制作に取り組んだ大学生2人に、選挙に対する思いを聞きました。



滋賀大学経済学部
3年生
かいち
高須 海地 さん

滋賀大学経済学部
3年生
ゆきの
坪井 友紀乃 さん

*白ばら通信：選挙について知ってもらうための選挙啓発紙。彦根市選挙管理委員会と彦根市明るい選挙推進協議会が発行。選挙制度や投票日などを掲載し、市内に配布している。



Q なぜ若者は選挙に行かないと思いますか？
どうしたら投票に行くと思いますか？

坪井 被選挙権がなく同世代の立候補者がいない世代にとっては、選挙は遠いものだと考えている人もいると思います。

教育面からみると、社会科の授業でも「自ら問題を発見して考える」という機会がもっと多くある方が良いのではないかと思います。世界中が情報で溢れている今、自分に影響しそうな情報を得て、問題提起をし、その問題に対して自分の意見を持つということはすごく難しくなっていると感じています。

高須 私も若者が投票に行くために一番重要なのは教育だと考えています。

学校で政治や経済を学んでいても、暗記が多くなると政治や経済がどのように自分たちの生活と結びついているのかをうまく理解することができません。

政治を通して「自分たちの暮らしや社会をどうしたら良くできるか」という問いを教育の場でもっと生徒に投げかけ、それぞれが考えられるような教育に変化すれば、なぜ政治が大事なのか理解できるようになり、投票に行くようになると考えています。



Q 選挙に行っても良かったと思うことは何ですか？

高須 選挙に行くと、「社会を作っている」という意識が持てたことです。たとえ自分が支持している立候補者が当選しなかったとしても、自分たちの未来について考え、一票を投じるという行為が自分に自信をもたらすし、政治参加がより楽しいと思えるようになりました。

坪井 立候補者の中で、自分が本気で「この人を応援したい」という人を見つけました。その選挙期間中は、まるで好きなスポーツチームを応援している感じでした。その人の名前を投票所で書いたときには、ワクワクが止まりませんでした。



Q 選挙を通してどんな社会になってほしいですか？

坪井 政治に参加することで、誰もが自分の意思で自分がやりたいことができる社会になってほしいです。

高須 「自治」がしっかりした社会になってほしいです。自分たちの国や街のこと、そして未来のことを自分たち自身が考え、話し合い、みんなで作りたい社会を作っていくことができる社会になってほしいです。



Q 同世代の皆さんに伝えたいことはありますか？

高須 政治について興味を持つということは、自分に興味を持つことと同じことだと思います。政治は社会や暮らしと密接に関わっています。そして、その社会は「自分がいる社会」であり、その暮らしは「自分の暮らし」そのものです。どんな社会にしたいのか、どんな暮らしにしたいのかを考えることは、どんな自分でありたいかを考えることと同じことなのです。私たちが参加した政治で作られる未来は、私たちの未来そのものなのです。

坪井 政治は身近なもの全てにつながっています。生活の中で「こうだったらいいな」と思ったとき、それは政治とつながっていることがたくさんあります。その自分の思いを政治に伝えてみる。電話をする、署名に参加するなどと同じく、投票に行くこともその思いの伝え方の一つです。自分の思いを抑えてしまつてではなく、政治へ伝えましょう。自分が生きやすい社会にしていきたい。それは、同じ思いを持つ他の人の声と合わさって大きなうねりになるかもしれません。次の世代がもっと生きやすい社会へ変える力となるかもしれません。そんな大きな力を一人ひとりが持っていると思います。

投票率向上のための取り組み

彦根市選挙管理委員会・彦根市明るい選挙推進協議会は、投票率向上に向け、さまざまな取り組みを実施しています。今回はその一部を紹介します。

① 選挙出前講座

講座を希望される市内の小・中学校で実施しています。実際に選挙で使用する投票箱、記載台、選挙機器を使って、模擬投票を体験します。

② 「白ばら通信」の発行

1年に1回、および選挙前に発行しています。令和2年12月1日号は、滋賀大学の高須さんと坪井さん(4ページ参照)に協力していただき制作しました。



③ SNS(交流サイト)での啓発

Facebookを活用し、新たに有権者となった皆さんへの情報提供や、選挙啓発作品の紹介などを行っています。



4月25日(日)の彦根市長選挙は みんなで Let's VOTE !

政治に興味があるあなたも、あまり興味がないあなたも、有権者はみんな平等に一票の権利を持っています。その一票の積み重ねで社会はできていくのです。あなたの投票が私たちの愛するまちの未来を作ります。

さあ、投票に行きましょう！

<期日前投票の日程と投票所>

投票所	投票ができる期間・時間
彦根駅西口仮庁舎(大東町) 4階 4A会議室 (アル・プラザ彦根内)	4月19日(月)~同24日(土) 8:30~20:00
稲枝支所(田原町)	4月19日(月)~同24日(土) 8:30~17:00
ピバシティ彦根(竹ヶ鼻町) 2階 研修室	4月19日(月)~同24日(土) 10:00~19:00
ひこね市文化プラザ(野瀬町) メッセ棟1階 視聴覚室	4月20日(火)~同24日(土) 10:00~19:00

*今回は、滋賀県立大学に期日前投票所を設けません。